



笠木絵津子『私の知らない母』出版記念新作展

2019年6月10-22日

藍画廊（東京銀座）

作品① p004-005:

「4次元時空間に浮かぶ古い家族写真たち」

Old family photographs floating in four-dimensional space-time

66 cm x 90cm、写真とドローイングによるデジタルイメージをインクジェットプリント、2019年制作

モノクロ写真:祖父のアルバムより6点

カラー私像:2002年5月、横浜市都筑区の自宅にて撮影

ドローイング:2019年3月、描く

私は最初の大学では物理学を専攻し大学院で素粒子の理論を研究した。その過程で相対論と量子力学という素粒子レベルの世界を記述する理論を学んだが、これがこの世の常識を超えた理論で私の世界観は180度ひっくり返った。その後は相対論的4次元時空間、ミンコフスキー空間、が私の頭の中に住み着いてしまった。祖父のアルバムの古い写真たちは次々とそのミンコフスキー空間に飛び発ってそれぞれの時間と空間の座標位置に掛かっていった。

作品② p012-021:

## 「壽山より台湾高雄市街展望 1928-2003」

Views of Kaohsiung from Yushan, 1928-2003

70cm x 510cm、過去と現在の写真によるデジタルイメージをインクジェットプリント、2019 年制作

モノクロ風景:戦前台湾高雄写真(2003 年、日台交流センター)、『台湾回想』(1994 年 1 月、創意力文化事業有限公司、台北市)、『台湾懐旧』(中華民国 79 年 11 月、創意力文化事業有限公司、台北市)、国民中学『認識台湾(歴史篇)』教科書(中華民国 87 年、国立編訳館)日本語版の台湾国民中学歴史教科書『台湾を知る』(2000 年 3 月、雄山閣出版)より高雄港と高雄市街の写真

モノクロ母像:祖父のアルバムより「1928 年頃、台湾高雄自宅前」の写真

カラー風景:2003 年 3 月、台湾高雄市壽山展望台より撮影

カラー私像:2002 年 11 月、横浜市都筑区の自宅にて撮影

3 月 2 日、ついに台湾入りする。台北で少しの観光と見学と買い物をし、翌日飛行機で高雄に到着した。飛行機が降りたのは高雄の新市街であったので、私が勉強してきたモノクロの高雄の街はもうどこにもないと思われた。が、愛河を渡り壽山に登り高雄港と旧市街が見える展望台に立った時そのパノラマは私の頭の中のモノクロの景色にぴったりと重なったのだった。